

平成28年度第3回日ペ理事会議事録抜粋

平成28年9月30日に行われました、理事会の議事録を下記します。

記

【決定事項】

- 1) 普及指導員規程を廃止する規程の制定について
28年度に普及指導員の資格認定を受けている者が希望する時は、公認指導員規程で定める初級指導員の審査基準および認定基準にかかわらず、申請により来年度から初級指導員の資格認定を受けられる。
- 2) B級審判員の暫定資格の扱いについて
保持者は、講習会を受講する事により、来年度から暫定を解除する。
- 3) 主催大会で時間制限を設ける場合の方法について
「日本選手権」、「東日本選手権」、「西日本選手権」の3試合に限り、60分プラス1メーヌ。
「ジャパンオープン」は、50分プラス1メーヌとする。

【既決定事項の確認】

- 1) C級審判員の暫定資格を来年度から解除することについて
来年度から、暫定資格を解除しC級審判員とする。
- 2) 「日本選手権大会」の代表チームに審判資格者が含まれることについて
来年の「第32回日本選手権大会」から適用。

【今後の検討事項】

- 1) ペタンク技術検定(仮称)の実施検討
- 2) 「東・西日本ベテラン大会」の廃止
- 3) 「ジャパンオープン大会」の見直し(2日間に短縮)
- 4) ランキングポイントの見直し
- 5) 指導員の暫定資格の扱いについて
日ペの指導員制度と日本体育協会のスポーツ指導員制度と関連つけのため、暫定資格はそのままとする。
- 6) 学生プレ大会の開催について
来年3月頃に東京で開催計画。(ペタンク部があるのは、北海道大学、岐阜女子大学
仏教大学(京都)、長崎外国語大学の4大学と高知北高校)
- 7) 傷害保険の適用範囲の縮小について
大会会場への往復時の事故数が多く、保険会社から適用範囲の見直しを言われています。
- 8) 都道府県体育協会への加盟促進について
「国体」への種目に応募するには、24以上の都道府県ペタンク連盟(協会)が加盟が条件。

以上

○普及指導員から初級指導員への移行対象者

愛川町協会(高木 姫代子)、厚木市協会(佐々木 健一・新倉 清)、小田原協会(柳川 守・神谷 勝)
平塚協会(榎本 洋子)、相模原市協会(金平 兼善・山田 弘)、横浜市協会(大慈彌 俊二
大慈彌 ひろ子・森 郊芳・瀬田 正一・金子 健司・入内嶋 茂)

〇C級暫定解除対象者

相模原市協会（行木 秀文・高梨 英男）、